



学校だより第44号

令和4年2月28日

かがやけ☆立花小学校

伊万里市立立花小学校 校長 宗 誠

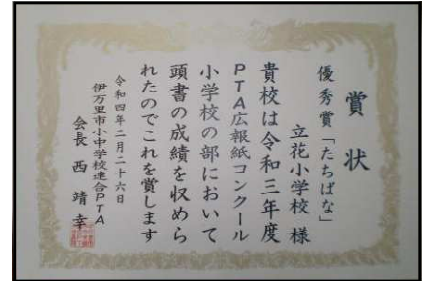


おめでとうございます！ PTA広報紙コンクール優秀賞受賞

伊万里市内の小中学校育友会(PTA)新聞を持ち寄って行われる「令和3年度PTA広報紙コンクール」というものがあります。

今年度の審査が先日市連Pで行われ本校の育友会新聞「たちばな」(10月29日発行82号)が小学校の部の優秀賞を受賞しました！昨年度に引き続き、2年連続での入賞となります。

育友会新聞作成に携わられた久重路広報委員長をはじめとする広報委員の皆様、優秀賞受賞、おめでとうございます。



体温計の寄贈 ありがとうございます！

年度初めの健康診断などで保健室が忙しいときに養護教諭補助として来てくださっている古川 よしの先生(南が丘)が、みなさんで使ってほしいということで各クラスに体温計を寄贈してくださいました(右写真)。

毎朝の検温などで活用でき、大変ありがたく思います。これから大切に使用させていただきます。ありがとうございました！



練習は本番のように 本番は練習のように

2月20日まで開催されていた北京オリンピックが閉幕となり、今度は3月4日からパラリンピックが開催されます。

北京オリンピックでは、日本選手が全部で18個という過去最高のメダルを獲得したと報じられています。コロナ禍にあって、嬉しいニュースに心が温まりますし、各選手の一生懸命さやチャレンジを見て、心を動かされます。

スキージャンプの高梨沙羅選手がスーツの規定違反で失格したり、女子パシュートの高木菜那選手が金メダル直前で転倒したりといった残念なことがありましたが、落ち込んで涙を流す当人にチームメイトが温かい言葉を掛けて励ます姿には感動を覚えました。いつもならひどい言葉が飛び交うネット上でも、「謝らないでいいんだよ」「また活躍して笑顔を見せて」などの言葉が多く寄せられていたのは嬉しいところです。

また、各選手のこれまでの取組やインタビューの返答に、改めてすごさやすばらしさを感じます。

日本女子として冬季オリンピック最年少メダリストとなったスノーボード村瀬心椛選手の、「いつもと変わらず、練習は本番のように、本番は練習のようだというのを意識した」とのコメントが印象的でした。

私も、体育大会練習などで「練習は本番のように、本番は練習のように」という言葉をよく使います。練習は本番のように集中して取り組み、本番では緊張感にのまれずに練習で培った力を全て出し切るつもりで普段の練習のように落ち着いてという意味ですが、端的に言う「練習を大切にする」、「日々の取り組みを大事にする」と言えると思います。これはスポーツの試合などでも言えることではないでしょうか。

今年度の学校生活も残り1か月となりました。今の学年で過ごす時間もゴールが見えています。特に、6年生はあと14日の登校日数です。今週末から始まる卒業式練習に向けて、「練習は本番のように」集中してやっていきましょう。在校生のみなさんも、「今の学年のまとめの時期であり、今しなければならぬことに集中して取り組む！」を日々意識して過ごしてほしいものです。



日本PTA全国協議会主催
三行詩優秀作品より